

北海信用金庫のあゆみ

沿革

大正15年	3月	有限責任余市信用組合の設立認可	平成 6年	6月	国縫支店を廃止して長万部支店に統合
昭和12年	3月	沢町支店設置	平成 7年	12月	札幌北支店新装オープン
昭和20年	1月	仁木支店設置	平成 8年	9月	喜茂別支店新装オープン
昭和23年	10月	倶知安支店設置			朝里支店新装オープン
昭和24年	7月	「後志信用組合」に名称変更	平成 9年	3月	岩内信用金庫との合併調印
	12月	喜茂別支店設置		7月	桜町出張所を朝里支店に統合
昭和25年	5月	寿都支店設置		10月	琴似支店設置
	6月	黒松内支店設置			岩内信用金庫と合併
	10月	狩太支店設置	平成10年	10月	空知信用金庫とコンピュータシステムを統一し、日本ユニシスに外部委託することに合意
昭和26年	10月	信用金庫法に基づき「後志信用金庫」に改組	平成11年	3月	蘭島代理店を廃止し、機械化店舗とする
昭和27年	8月	蘭越支店設置		10月	福井出張所を廃止し、福井代理店とする
	12月	本店新築落成			空知信用金庫とのコンピュータシステム統合スタート
昭和28年	3月	真狩支店設置		11月	空知信用金庫とATM提携サービス開始
昭和29年	5月	内国為替業務取扱開始	平成12年	5月	月寒支店新装オープン
昭和30年	2月	留寿都支店設置			余市町黒川町のATMを廃止し、
	5月	京極出張所設置			コープさっぽろ余市店に店外ATMを設置
昭和32年	4月	後志信用金庫育英会発足		9月	信金中央金庫ビルに店外ATMを設置
昭和34年	1月	全国信用金庫連合会代理業務取扱開始		10月	手稲あけぼの支店を廃止し、手稲あけぼの代理店を設置
昭和39年	2月	営業地区を小樽市に拡張			島牧支店を廃止し、島牧出張所を設置
	8月	「北海信用金庫」に名称変更			共和支店を廃止し、共和出張所を設置
昭和40年	12月	小樽支店設置	平成13年	1月	岩内東支店を廃止し、岩内東出張所を設置
昭和41年	2月	営業地区を札幌市に拡張		10月	道央信用金庫、夕張信用金庫と合併基本協定書を締結
昭和42年	10月	札幌支店設置			道央信用金庫、夕張信用金庫と合併
昭和43年	2月	営業地区を古平町・積丹町に拡張		11月	真狩支店新装オープン
昭和44年	11月	OUK9200型電子計算機導入	平成14年	7月	黒松内支店新装オープン
		朝里支店設置		8月	共同設置ATM伏見、長橋店オープン
昭和45年	4月	小樽支店、外国通貨両替商(買入)業務開始		9月	小樽支店移転オープン
	6月	営業地区を豊浦町・大滝村・洞爺村に拡張			奥沢支店設置
昭和46年	1月	営業地区を岩内町・泊村・神恵内村・広島町			平和支店を廃止し、平和代理店を設置
		恵庭町・千歳市に拡張			若菜支店を廃止し、若菜代理店を設置
	12月	日本銀行小樽支店と当座取引開始(小樽支店)	平成15年	10月	京極支店新店舗オープン
昭和47年	11月	日本銀行歳入代理店の指定を受ける(本店)		7月	塩谷代理店新店舗オープン
昭和48年	6月	小樽支店、外国通貨両替商(売却)業務開始		9月	北13条出張所・沼の沢代理店オープン
昭和49年	10月	月寒支店設置		10月	新コンピュータシステム稼働開始
昭和50年	6月	北海信金オンライン稼働	平成16年	3月	南3条支店「店舗内店舗」移転オープン
昭和51年	3月	財団法人北海信金奨学財団設立			平和代理店・若菜代理店を廃止
	9月	西野支店設置		5月	古平信用金庫との合併調印
昭和54年	11月	新本店ビル完成		8月	南3条支店を廃止し、札幌支店に統合
昭和55年	7月	塩谷代理店設置	平成17年	2月	北13条出張所を廃止し、白楊支店に統合
	10月	札幌北支店設置			古平信用金庫と合併
昭和56年	12月	預金量1,000億円突破		9月	夕張支店新装オープン
昭和57年	10月	金売買業務を開始		10月	西野支店新装オープン
昭和58年	6月	国債窓口販売業務開始	平成18年	3月	本店にて新型ATM「Bank IT」稼働開始
	7月	「北海信金地域経済振興基金」財団法人となる		10月	北海信用金庫80年史刊行
		蘭島代理店設置		12月	12月預金残高4,000億円達成運動(実績4,221億円)
	12月	日本銀行から国債代理店に指定される	平成20年	3月	福井代理店を廃止
昭和59年	11月	全国信用金庫連合会と外国為替業務の取次契約を締結	平成21年	8月	夕張支店を本町出張所に変更
昭和60年	1月	渉外活動に携帯用端末導入			清水沢支店を夕張中央支店に変更
	5月	コンピュータ(UNIVAC1100-70B)始動	平成26年	9月	岩内東出張所を廃止し、岩内支店に統合
昭和61年	10月	共和支店設置			奥沢支店を廃止し、小樽支店に統合
平成 元年	6月	福井出張所設置			塩谷代理店・沼の沢代理店を廃止
平成 2年	10月	手稲前田支店設置	平成27年	10月	本町出張所を廃止し、夕張中央支店に統合
平成 3年	9月	長万部信用金庫と合併		11月	平成30年1月をめぐりに札幌信用金庫、小樽信用金庫と
	12月	預金量2,000億円突破			対等合併することに基本合意
平成 4年	8月	新コンピュータ(UNISYS2200-401)始動			
	10月	日本銀行札幌支店と当座取引開始(札幌支店)			